

- 担当教官：辻井 正人（つじい まさと）
- 担当教官の連絡先：(研究室) 伊都キャンパス数理学研究教育棟 417 号室
電話 092(802)4464 電子メール tsujii@math.kyushu-u.ac.jp
- 教科書：「解析入門」 ラング 著（岩波書店）
- 講義についての情報を集めたウェブページを

<http://user.math.kyushu-u.ac.jp/index.php?tsujii>

から「講義について」⇒「2010 年度」⇒「微分積分学」とたどった所におく。講義の進行や宿題、講義中に配布したプリントについて順次情報を入れるので、講義を休んだときなどに参考にすること。

- 講義内容：前期は 1 変数関数の微分と積分について学ぶ。(教科書の第 IV 部まで。) 基本的な事項は高等学校で既に学習しているので復習になる部分が多い。内容の理解は比較的容易であると思う。ただし、進行が早いことや例えばテラー展開などのように高校では取り扱わないが重要な項目もあるので注意してほしい。

後期は多変数の関数 (例えば $f(x, y) = x^2 - y^2$ など) の微分について学ぶ。新しい事項で内容的にも高度になるが、進行は前期に比べて時間をとって進める。時間が許せば、多変数関数の積分や微分方程式についての導入的な部分を講義する。

- 3 回目以降の講義の最初に 15 分ほどで小テストをする。小テストは原則として採点して次週に返却する。答案の回収と返却を円滑に行うために次のようにする。
 - － 座席を固定する。(2 回目以降の講義は同じ席に座ること。)
 - － 小テストの最中に封筒を列ごとに左の席からまわすので採点された自分の答案を受け取る。
 - － 一番右側の座席の人は答案を取り出した封筒を持っておく。
 - － 小テストが終わったら一番右側の人から順に答案をその封筒に入れてまわし、一番左の席の人が私に答案の入った封筒を渡す。

小テストは成績に関係あるテストなので教科書とノートはテスト時間中はしまう。点数はつけるがかなりの部分は出席点。小テストの問題は(数値はかえて)期末テストにも出すので小テストで間違えたところはチェックしておくこと。

- 予定：
 - － 6 月 4 日 (金曜日) は海外出張のため休講。
 - － 期末試験は 7 月 30 日。(授業の進度によって変更の可能性あり。)
- 評価は「小テスト 50% + 期末テスト 50%」100 点満点に換算して 60 点で合格。
- 欠席について：出席は取らないので、欠席届等は必要ない。ただし、事情があって一学期で 3 回以上欠席するときは連絡すること。